

取扱説明書

正しい施工をしていただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
 施工のあと、この取扱説明書を大切に保存してください。



CATV用 F 型 アルミラミネートケーブル F-5FH(1) コネクタ

【工具の種類】

芯線圧着工具(FC-1 又は MC-26)、スパナ(2面幅が12及び14のもの)
 その他に、挿入工具(工具-125)の使用をお勧めします。

【結線方法】

<p>1. ケーブルの切出し</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外被及び外部導体を先端から <u>19 mm</u> で切り離す。 ② 締付金具セットをケーブルに差し込む。 ③ 絶縁体を回転させ、絶縁体と外部導体アルミラミネートの間に隙間をもうけて補強スリーブを挿入しやすくする。 ④ 絶縁体を <u>4 mm</u> 残して切り離す。 <p>！ 注意事項 ※印部の絶縁体に傷を付けない様に充分注意すること。</p>	<p>締付金具セット、編組、絶縁体(外部導体)、内部導体、ケーブル、外被、4 mm、19 mm</p>
<p>2. 補強スリーブセットの挿入</p> <p>補強スリーブのツバがケーブルの外被にあたるまで挿入すること。この際、右図のように弊社挿入工具(工具-125)を使用すると、挿入作業が容易に行なえる。</p> <p>！ 注意事項 補強スリーブセットを挿入する際には、外部導体が押し込まれないようにすること。</p>	<p>ツバ、外被、補強スリーブ、工具-125、ツバにあたるまで挿入</p>
<p>3. 中芯コンタクトの圧着</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 中芯コンタクトの覗き穴から、<u>内部導体が見えることを確認</u>する。 ② できるだけ補強スリーブの近く(V部)で、中芯コンタクトを弊社芯線圧着工具(FC-1 又は MC-26)の <u>2.3 表示部</u> で圧着する。 ③ 編組をツバの外径に合わせて切り離す。(3重シールド) <p>！ 注意事項 中芯コンタクトの圧着には、必ず弊社専用工具(FC-1 又は MC-26)を使用すること。</p>	<p>ツバの外周に沿って編組を切り取る、この部分で圧着する、覗き穴、中芯コンタクト、補強スリーブ</p>
<p>4. シェルセットへの締め付け</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ケーブル挿入済の補強スリーブセットをシェルセットに挿入する。 ② 締付金具セットの端面と、シェルセットのHカット部の端面が重なるまで締め込む。この際の締め付けトルクは、約 <u>4.9N·cm (50kgf·cm)</u>。 	<p>締付金具セット、Hカット部、締め込む、ケーブル、シェルセット</p>